

『千人の月見の宴』俳句コンテスト

2016年第1回

～ 薪能とタンゴ～

～ 入賞～

【募集題材】

中秋の名月にちなんで「月」を詠んだ俳句

中秋の名月にちなんで「月」を詠んだ月の俳句コンテストに、185句の投句がありました。みなさまありがとうございました。中秋の名月の下で詠む俳句は、どれも素敵でした。

【北大阪商工会議所 平崎副会頭賞】

幼子と バッタ追いつつ 月を待つ — 井上京美

【ダイレクト・ヒット賞】

和太鼓の 音に引かれて 河川敷 — としこ

【辰巳満次郎賞】

平安の 祈りを月へ 母娘 — 興子 (おきこ)

【LAST TANGO 賞】

淀川の 滲む光の 中秋の月 — 和田由紀子

【佳作・月見の宴選】

月のもと 響く鼓と 友の舞 — 柴ゆきこ

千人に 見られはずかし かくれ月 — おはな

ひらかたの 夜空に祈る 曇り月 — きしもとともみ

川風に 月をさがして 謡を聴く — 春木富貴子

芝の緑 瞳に麗しく 淀舞台 — 原浩司

秋風(しゅうふう)に 包み込まれて 宵の舞 — 酒の神田屋

高層の マンションを背に 千人の月の宴 — 麻

大淀や 立見してみる 薪能 — 石田スミ子

平安を 祈る八十なり 月祭る — 柳田富久枝

亡き夫と 雲間雲間で かくれ月 — 合田美加

川風に 雲も吹かれて 月の宴 — 米原春美

月見席 河原に高き 笛鼓 — 伊藤勝代

ぽっかりと 月夜に浮かぶ ダンボール — まりたん

枚・かた男 月にかわって おしおきよ — ブルーツリー

月読みの 神の恵みを 思へ世の人 — 八幡霊夢

※賞の順番は五十音です。敬称略

名前・ペンネームは手書きのため読みづらいものがありました。

間違いなどあればご指摘ください。